



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和5年9月28日

9月号



## 生成AIの利用について（その2）

校長 千葉 良彦

先月の学校だよりで触れさせていただいた「生成AI」は、模範解答が得意です。模範解答を知りたいときには大いに使うべきだと思います。

私は子どもの頃、夏休みの感想文や作文の宿題が苦手でしたが、今ならすらすら書けます。教師になって感想文を審査する側の立場を数多く経験し、優秀な作品を読む機会を得ることで、“審査員が何を求めているか”とか、“どんな感想文（作文）なら読みたくなるか”という「相手意識」に立つことができるようになったからです。

私が考える、感想文や作文が上手になるコツの一つ。それは、入賞作品をたくさん読むこと。質の高い作品を読んで、なぜこの作品が入賞したのかを、自分が審査員の立場にたって分析してみる。これは非常に有効だと思います。私は子どもの頃、この「ロールモデル（お手本）を見つける」という発想がなかったため、書くのにとっても苦労しました。

自分が審査員になったつもりで、優秀な作品に触れることを通して、「なにをどんな風に行けば……」とか、「審査員は何を読みたいのか……」などが見えてきます。たとえば、“感想文に本のあらすじが書かれていると興ざめ（きょうざめ）しがち”とか、“「税についての作文」に税の説明を長々と入れるのは的外れになりがち”なこと。逆に、審査員が書いてほしいのは、その人にまつわる体験や経験であり、「その人が自分の体験や経験を通して、何がわかり、何に気づき、何を思ったか……」という心の変化や成長についての部分が、一番読みたいということに気づくことができるのではないかと思います。

話を戻しますが、模範解答が得意な「生成AI」は、何をどのように書けば良いのかわからないとき、ベースとなる項立てや考え方を示してくれるという点から、大変使い勝手の良いツールになると思います。

でも、人間は、模範解答では満足しない生き物です。本当かな？もっと違う考えもあるのでは？と、模範解答を知ってしまうと、余計にもっと調べてみたくなる……。それがAIにはない人間のすごさではないでしょうか。

西中の子どもたちには、AIを、“学ぶ意欲を引き出す有効な「道具」”として、常に使う側に立ち続けてほしいと願っています。

## 9月の西中

ZERO 運動月別目標  
「何事にもベストを尽くそう」

月別 保健目標  
「応急処置を覚えよう！」

## 第73回学校祭

### 一人一人が全力で楽しんだ魂レボリューション

9月9日（土）、第73回学校祭が開催されました。西中体育館で合唱と演劇をメインにしながら行いましたが、どの学級・学年の合唱も演劇も素晴らしい出来でした。

また、生徒会による開会式の企画、窓や階段、廊下の装飾、学級ごとの絵画やフォトムービーの作成等、部門に分かれて多くのことに挑戦し、生徒は大きな達成感を得ることができました。

今年度は、市内の飲食店のご協力を得て、PTA 役員の皆様によるバザーを実施しました。生徒は、好きなものを注文して楽しむことができました。

なお、欠席者が多いため延期となった2学年演劇は、**10月6日（金）13時20分に、西中体育館で発表会を行います。また、2学年合唱もあわせてご披露します。ぜひご来場ください。**



1年 劇



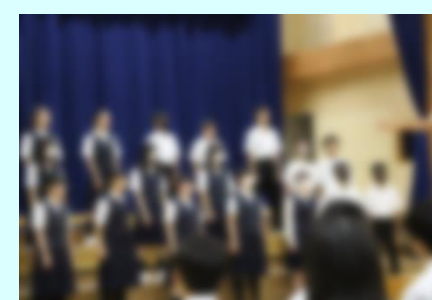
1-1 合唱



1-2 合唱(最優秀賞)



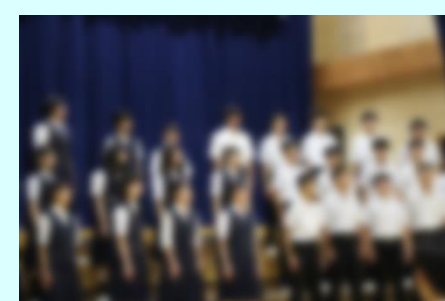
2-1 合唱(最優秀賞)



2-2 合唱



3-1 合唱(最優秀賞)



3-2 合唱

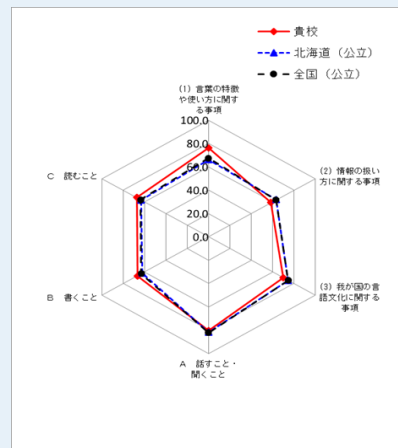


3年 劇

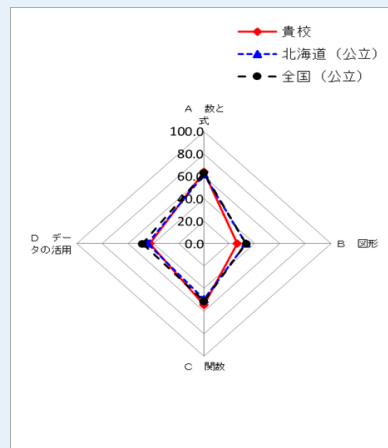


# 「全国学力・学習状況調査」結果の分析から

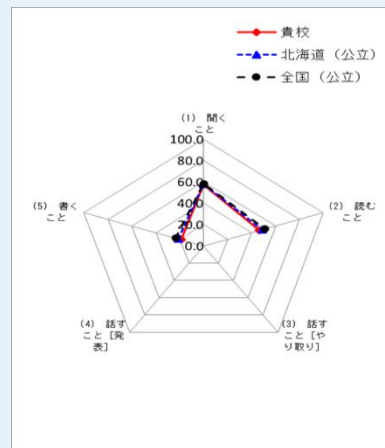
4月18日に実施された全国学力・学習状況調査について、結果から以下の通りに分析しました。この分析を受け、学校と家庭、地域で連携しながら一体となって改善を図りたいと考えております。よろしくお願いいたします。



(国語科の結果)



(数学科の結果)



(英語科の結果)

## 【学力調査から】

- (成果) ○国語科は、全国平均正答率を上回りました。  
 ○言葉の特徴や使い方に関する問題の正答率が高いです。(国語)  
 ○話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができます。(国語)  
 ○自然数の意味を理解しています。(数学)  
 ○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができます。(数学)  
 ○日常的な話題について、必要な情報を聞き取る問題の全国平均正答率を上回りました。(英語)  
 ○文と文との関係を正確に読み取る問題の全国平均正答率を上回りました。(英語)
- (課題) ●数学科、英語科は、全国平均正答率を下回りました。  
 ●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題の正答率が低いです。(国語)  
 ●具体と抽象など、情報と情報との関係についての理解が低いです。(国語)  
 ●図形問題の正答率が低いです。(数学)  
 ●思考・判断・表現、記述式の問題の正答率が低いです。(数学)  
 ●書くこと、記述式の問題の正答率が低いです。(英語)  
 ●社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題の正答率が低いです。(英語)

## 【学習調査から】

- (成果) ○思いやりの心をもっている生徒が多いです。  
 ○平日に読書をする生徒が増えています。
- (課題) ●普段の生活の中で幸せな気持ちになれない生徒もいます。  
 ●家庭学習の時間が短く、ゲームやSNSに費やしている時間が長い生徒が多いです。

## 【調査から明らかになった重点課題】「読解力・表現力の向上」「ICTの活用」「自己肯定感の向上」

### 【課題解決に向けた策】

- (読解力・表現力の向上)  
 ・振り返りの時間で、自分の考えを伝える力、説明する力を養います。  
 ・TTや習熟度別学習指導、個別指導を充実し、全生徒が基本事項を理解できるように取り組みます。
- (ICTを活用した家庭との連携)  
 ・端末の効果的な使い方を全職員で検証し、授業改善に取り組みます。  
 ・家庭と連携し、端末を家庭学習にも活用できるようにします。
- (自己肯定感の向上)  
 ・生徒が他者に認められる場面を、学校行事や授業の中で教職員が意図的・計画的に設定し、生徒の自己肯定感を高めるよう支援します。

# 後期生徒会役員決定

9月25日(月)に後期生徒会役員立会演説会及び選挙が行われました。責任者の演説は、お昼の放送を活用し、立候補者の演説は、当日の6校時に全校生徒の前で行いました。全ての候補者が生徒会活動への熱い思いと意欲を語っていました。投票後、即日開票され、以下の生徒が後期役員として選出されました。認証式は10月2日(月)に行う予定です。

よりよい学校生活を築くためには生徒会役員を中心としながら221名の生徒全員で知恵を出し合い主体的に生徒会活動を行うことが大切です。さらなる西中の発展のため、皆さんで頑張りましょう。

最後に前期生徒会役員の皆さんにおいては、体育大会や学校祭などに対し、全員で協力して素晴らしい行事を創り出しました。大変、お疲れ様でした。

役職(書記局)	氏名	役職(常任委員長)	氏名
会長	小林(尋)さん(2-1)	生活常任委員長	大森さん(2-1)
副会長	田村さん(2-1)	文化常任委員長	畠山(り)さん(2-2)
副会長	高橋さん(1-2)	保体常任委員長	田野さん(2-2)
書記長	原口さん(2-2)	報道常任委員長	四ツ嶋さん(2-2)
書記次長	小林(映)さん(1-2)		
会計長	熊川さん(2-1)		
会計次長	畠山(侑)さん(1-1)		

## 一部活動活躍の記録

【野球部】 第15回全日本少年春季軟式野球大会 北北海道大会 一回戦敗退 VS 北見光西中

【ソフトテニス部】 富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 準優勝

【卓球部】 紅葉杯争奪卓球大会

種目	順位	選手	組
中学女子シングルス	優勝	松谷	さん
	準優勝	田中	さん
	3位	吉田	さん
中学女子ダブルス	優勝	松谷	・城座 組
	準優勝	田中	・吉田 組
中学男子シングルス	3位	佐々木	さん
	5位	田中	さん
中学男子ダブルス	3位	佐々木	・田中 組



10月23日(月)から教育相談が始まります。是非、この時間を活用してください。決して一人で悩み事を抱えることのないようにしてほしいと思います。

2(月) 後期役員認証式 職員会議(13:50下校)	6(金) 常任委員会	18(水) 富良野市音楽発表会
3(火) 常任委員会	11(水) 生徒総会 富良野市総合研究大会 (14:30下校)	19(木) 職業体験学習(2年)
4(水) 上教研南部地区研究大会 (12:20下校)	12(木) 学力テスト(3年総合B)	23(月) 教育相談(全年 ~27日)
5(木) 富良野高校体験入学	16(月) 校内研修(13:50下校)	27(金) 上川南部地区英語発表会
		30(月) 進路説明会